

2000 年春季年会

# 年会プログラム

於 東京大学

2000 年 4 月 3 日 (月) ~ 4 月 5 日 (水)

日本天文学会

# 日本天文学会 2000 年春季年会プログラム

場 所 東京大学 本郷キャンパス (案内図参照)

〒 113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1 理学部

電 話・FAX 090 - 4387 - 6893 <使用期間 2000 年 4 月 2 日 (日) ~ 4 月 5 日 (水) >

日 程

時刻	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
月日	会場	分 野				分 野					
4月3日 (月)	A	S. 銀河核			ポ ス タ ー	S. 銀河核			ジ ュ ニ ア セ ッ シ ョ ン	天 文 教 育 フ ォ ー ラ ム	
	B	L. 太陽系				J. 位置/K. 天力					
	C	T. 銀河団				T. 銀河団/Y. 教育					
	D	W. 飛翔観				W. 飛翔観					
	E	N. 恒 星				N. 恒 星					
	F	Q. 星 間				Q. 星 間					
4月4日 (火)	A	B. 銀河形成			評 議 員 会	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	P. 星形成			総 会	懇 親 会
	B	V. 地上観					V. 地上観				
	C	A. 天体プラズマ					A. 天体プラズマ				
	D	W. 飛翔観/M. 太陽					M. 太 陽				
	E	N. 恒 星					R. 銀 河				
	F	Q. 星 間					C. 降着円盤				
4月5日 (水)	A	P. 星形成			理 事 会	ポ ス タ ー / ビ ジ ネ ス ア ワ ー	特 別 講 演				
	B	V. 地上観									
	C	X. 情報処理									
	D	M. 太 陽									
	E	R. 銀 河									
	F	U. 宇宙論									

A 会場：山上会館 (大会議室)

受 付：山上会館 2F (9 時から)

B 会場：理学部 4 号館 (1220 教室)

休 憩 室：山上会館 2F (201+202 会議室)

C 会場：理学部新 1 号館 (207 教室)

ポスター会場：御殿下記念館

D 会場：理学部新 1 号館 (206 教室)

懇 親 会 場：第 2 食堂

E 会場：理学部旧 1 号館 (150 教室)

ビジネスアワー：

F 会場：理学部旧 1 号館 (166 教室)

ビジネスアワーには、集会や会合を開くことができます。

講演数 合計 392 うち、

口頭講演 (a)：202、ポスター講演 (b)：134、ポスター講演 (c)：56

基本登録料：会員 3,000 円、非会員 5,000 円

追加講演登録料：3,000 円 (追加 1 講演につき)

年会予稿集：2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

## ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は6会場で行います。口頭講演(添字a)は、口頭発表10分、質疑応答5分です。ポスター講演(添字b)は、口頭発表3分、4講演で15分を割り当て、座長の判断でまとめて質疑応答を行います。

※時間厳守：講演時間制限を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表(添字b)、(添字c)は、3日間掲示できます。ポスターは縦180×横90cmまで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、4月3日の9:30から4月5日の15:00まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演にはOHPをご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

## ◎会期中の行事

- |    |           |       |             |     |
|----|-----------|-------|-------------|-----|
| 1. | ジュニアセッション | : 1日目 | 16:00~18:00 | B会場 |
| 2. | 天文教育フォーラム | : 1日目 | 18:00~19:30 | B会場 |
| 3. | 評議員会      | : 2日目 | 12:00~13:00 | 会議室 |
| 4. | 総会        | : 2日目 | 16:30~18:00 | B会場 |
- 主な議題 = ○1999年度事業報告  
○1999年度収支決算報告・監査報告  
○新評議員の承認
- |    |      |       |             |      |
|----|------|-------|-------------|------|
| 5. | 懇親会  | : 2日目 | 18:30~20:30 | 第2食堂 |
| 6. | 理事会  | : 3日目 | 12:00~13:00 | 会議室  |
| 7. | 特別講演 | : 3日目 | 14:30~16:30 | B会場  |

## ◎日本天文学会公開講演会

テーマ:「新しい望遠鏡が見た初めての宇宙」

日時:2000年4月2日(日) 14:00~17:00(13:30開場)

場所:東京大学本郷キャンパス 安田講堂

対象:中学生以上・一般

「富士山頂サブミリ波望遠鏡で探る星の誕生」

講演者 東京大学・助教授 山本 智

「すばる望遠鏡で見る遠宇宙」

講演者 国立天文台・教授 家 正則

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。

ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。

## ◎天文教育フォーラム（天文教育普及研究会と共催）

21世紀には、日本の探査機が太陽系天体に迫ります。サンプルを実際に手にとって調査できる日も遠くありません。しかしながら、教育現場では、夜間観測の困難さなどもあって、画像の紹介やワークシートによる演習に頼らざるをえない実情があります。物理、化学、生物などの分野とくらべて、実験することは難しく、モデル実験器なども限られています。そこで、天文学の室内実験、教具、教材を広く紹介し、小さなアイデアで、児童・生徒・学生をワクワクさせることのできるような、『天文学の隠し芸』、『大道芸人大会』を催したいと考えています。

テ ー マ : 「宇宙を教室の中へ」 - 天文学の室内実験 -

概 要 : 体で感じることでできる天文学実験、教具、教材など 実演、展示

日時・場所 : 公開実験  
2000年4月3日(月) 18:00～19:30 B会場(理学部4号館、1220教室)  
教材・教具の展示  
2000年4月3日(月)～4月5日(水) ポスター会場(御殿下記念館)

参 加 費 : 天文教育フォーラムのみの参加者は、年会基本登録料は不要です。  
年会受付で、その旨お伝え下さい。

実 行 委 員 : 鈴木文二(埼玉県立三郷工業技術高校)、水野孝雄(東京学芸大学)  
縣 秀彦(国立天文台)、山縣朋彦(文部省)

問い合わせ先: 鈴木文二(suzukibn@cc.nao.ac.jp)

## ◎特別講演

テーマ: 「宇宙論でどこまで分かったか？」

日 時 : 2000年4月5日(水) 14:30～16:30

場 所 : B会場(理学部4号館、1220教室)

講 演 I : QSO吸収線で探る宇宙初期元素合成

講 演 者 : David Tytler(カリフォルニア大学サンディエゴ校・教授)

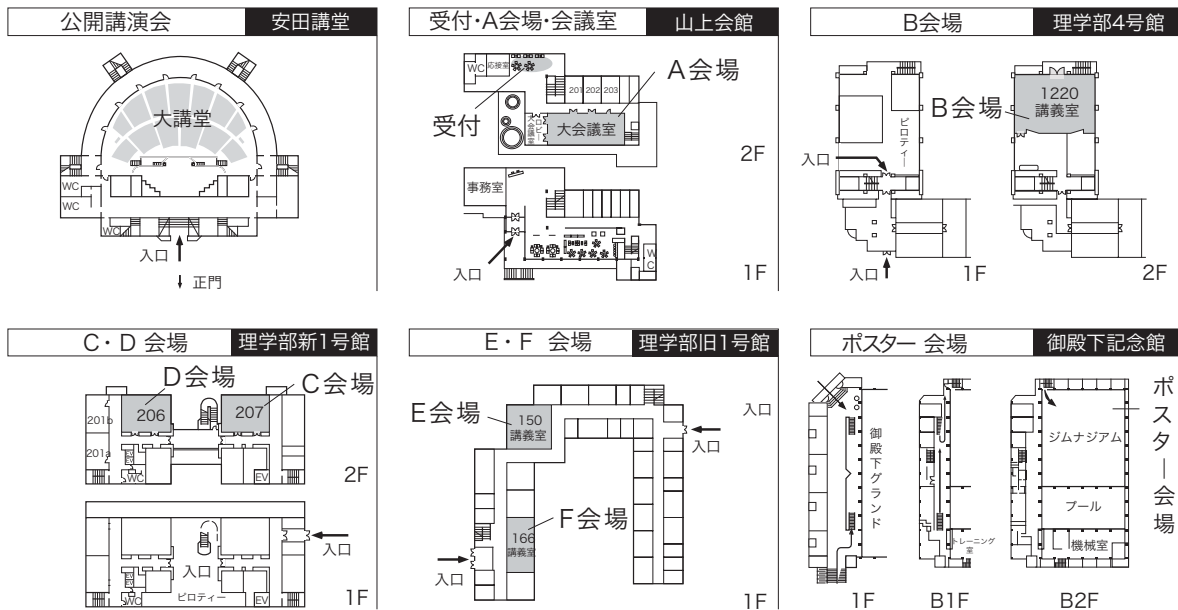
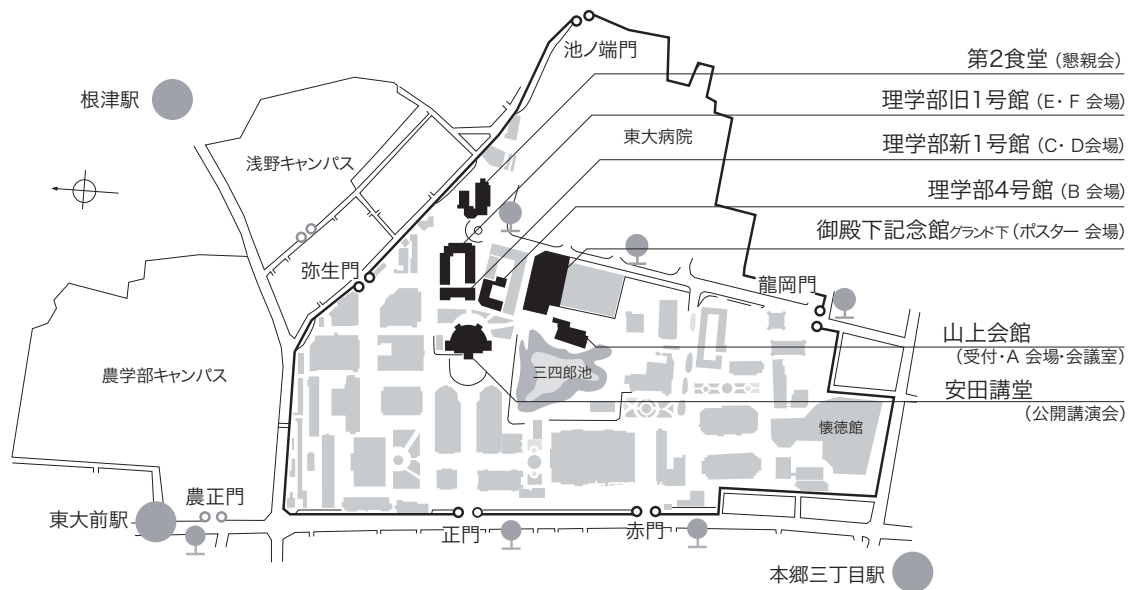
概 要 : 1990年代後半、大型望遠鏡の登場は観測的宇宙論の新しい扉を開いた。我々は、Keck 10m望遠鏡でのQSO吸収線上のD/Hの観測により、バリオン密度、宇宙初期元素合成の精密な測定に取り組んでいる。これまでの観測、議論を最新の成も交えて紹介したい。また、大型望遠鏡時代の国際競争、協力関係や、欧米で具体化しつつある100mクラスの超大型望遠鏡の構想についても触れたい。

講 演 I : 宇宙論の来し方行く末

講 演 者 : 須藤 靖(東京大学・助教授)

概 要 : 1980年代以降、宇宙論は、素粒子物理学の発展と観測機器の進歩という理論的および観測的な2つの要因に支えられて飛躍的に理解が進んできた。これを受けて、21世紀に向けて大規模な宇宙論的観測プロジェクトが目白押しである。今世紀に我々が到達した最新の宇宙像を総括しながら、将来に残された課題とその展望について議論する。

# 春季年会会場（東京大学本郷キャンパス）のご案内



## 交通機関のご案内

### 地下鉄

- 本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）徒歩 8 分
- 湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）徒歩 8 分
- 東大前駅（地下鉄南北線）徒歩 5 分

### バス

- お茶の水駅（JR中央線、総武線）
- 上野駅及び御徒町駅
- 都バス 茶 51 駒込駅、王子駅行又は 都バス 都 02 大塚行ー湯島四丁目下車（御徒町駅のみ）
- 東 43 荒川土手行ー東大（赤門前、正門前）下車 学バス 学 01 東大構内行ー終点下車（¥170）
- 学バス 学 07 東大構内行ー終点下車（¥170）

口頭セッション 4月3日(月)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
10:00	【銀河核】 S01a	【太陽系】 L01a	【銀河団】 T01a	【飛翔観】 W01a	【恒星】 N01a	【星間】 Q01a
10:15	S02a	L02a	T02a	W02a	N02a	Q02a
10:30	S03a	L03a	T03a	W03a	N03a	Q03a
10:45	S04a	L04a	T04a	W04a	N04a	Q04a
11:00	S05a	L05a	T05a	W05a	N05a	Q05a
11:15	S06a	L06a	T06a	W06a	N06b, N07b N08b, N09b	Q06a
11:30	S07a	L07a	T07a	W07a	N10a	Q07a
11:45	S08a	L08b, L09b L10b, L11b	T08a	W08a	N11a	Q08b, Q09b Q10b, Q11b
12:00		L12b, L13b L14b				
12:00-13:00	昼休み					
13:00-14:00	ポスター					
14:00	【銀河核】 S09a	【位置】 J01a	【銀河団】 T09a	【飛翔観】 W09a	【恒星】 N12a	【星間】 Q12a
14:15	S10a	J02a	T10b, T11b T12b, T13b	W10a	N13a	Q13a
14:30	S11a	J03b	T14b	W11a	N14a	Q14a
14:45	S12b, S13b S14b, S15b	【天力】 K01a	【教育】	W12b, W13b W14b, W15b	N15a	Q15a
15:00	S16b, S17b	K02a	Y01a	W16b, W17b W18b, W19b	N16a	Q16a
15:15		K03a	Y02a	W20b, W21b W22b, W23b	N17a	Q17a
15:30		K04b	Y03a	W24b, W25b W26b, W27b	N18b, N19b N20b, N21b	Q18a
15:45			Y04b, Y05b Y06b	W28b, W29b W30b, W31b	N22a	Q19a
16:00-18:00	ジュニアセッション					
18:00-19:30	天文教育フォーラム					

口頭セッション 4月4日(火)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
	<b>【銀河形成】</b>	<b>【地上観】</b>	<b>【プラズマ】</b>	<b>【飛翔観】</b>	<b>【恒星】</b>	<b>【星間】</b>
09:30	B01a	V01a	A01a	W32a	N23a	Q20a
09:45	B02a	V02a	A02a	W33a	N24a	Q21a
10:00	B03a	V03a	A03a	W34a	N25a	Q22a
10:15	B04a	V04a	A04a	W35b, W36b W37b, W38b	N26a	Q23a
10:30	B05a	V05a	A05a	W39b, W40b	N27b, N28b N29b, N30b	Q24b, Q25b Q26b, Q27b
10:45	B06a	V06a	A06a	<b>【太陽】</b>	N31a	Q28b
11:00	B07a	V07a	A07a	M01a	N32a	
11:15	B08a	V08a	A08a	M02a	N33a	
11:30	B09a	V09a	A09a	M03a	N34a	
11:45	B10b, B11b B12b, B13b	V10b, V11b V12b, V13b	A10b, A11b A12b	M04b, M05b M06b, M07b		
12:00	B14b, B15b					
12:00-13:00	昼休み					
13:00-14:30	ポスター					
	<b>【星形成】</b>	<b>【地上観】</b>	<b>【プラズマ】</b>	<b>【太陽】</b>	<b>【銀河】</b>	<b>【降着円盤】</b>
14:30	P01a	V14a	A13a	M08a	R01a	C01a
14:45	P02a	V15a	A14a	M09b, M10b M11b	R02a	C02a
15:00	P03a	V16a	A15a	M12a	R03a	C03a
15:15	P04a	V17a	A16a	M13a	R04b, R05b R06b, R07b	C04a
15:30	P05a	V18a	A17a	M14a	R08b, R09b R10b, R11b	C05b, C06b C07b
15:45	P06a	V19b, V20b	A18a	M15a	R12a	
16:00	P07a		A19a	M16a	R13a	
16:15	P08a		A20a	M17a	R14a	
16:30-18:00	総会					
18:00-18:40	受賞記念講演					

口頭セッション 4月5日(水)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場
	<b>【星形成】</b>	<b>【地上観】</b>	<b>【情報処理】</b>	<b>【太陽】</b>	<b>【銀河】</b>	<b>【宇宙論】</b>
09:30	P09a	V21a	X01a	M18a	R15a	U01a
09:45	P10a	V22a	X02a	M19a	R16a	U02a
10:00	P11a	V23a	X03a	M20a	R17a	U03a
10:15	P12a	V24a	X04a	M21a	R18a	U04a
10:30	P13a	V25a	X05a	M22a	R19a	U05a
10:45	P14b, P15b P16b, P17b	V26a	X06b, X07b	M23b, M24b M25b	R20a	U06a
11:00	P18a	V27b, V28b V29b, V30b		M26a	R21a	U07a
11:15	P19a	V31b, V32b V33b, V34b		M27a	R22a	U08a
11:30	P20a	V35b, V36b V37b, V38b			R23a	U09b
11:45	P21a	V39b			R24b, R25b R26b, R27b	
12:00	P22b, P23b				R28b, R29b	
12:00-13:00	昼休み					
13:00-14:30	ポスター					
14:30-16:30	特別講演					



【天体プラズマ】

A10b, A11b, A12b, A21c

【銀河形成】

B10b, B11b, B12b, B13b, B14b, B15b,  
B16c, B17c

【降着円盤】

C05b, C06b, C07b, C08c, C09c, C10c,  
C11c

【位置天文学】

J03b

【天体力学】

K04b

【太陽系】

L08b, L09b, L10b, L11b, L12b, L13b,  
L14b, L15c, L16c, L17c, L18c

【太陽】

M04b, M05b, M06b, M07b, M09b, M10b,  
M11b, M23b, M24b, M25b, M28c

【恒星】

N06b, N07b, N08b, N09b, N18b, N19b,  
N20b, N21b, N27b, N28b, N29b, N30b,  
N35c, N36c, N37c, N38c, N39c, N40c,  
N41c, N42c, N43c, N44c, N45c, N46c,  
N47c

【星形成】

P14b, P15b, P16b, P17b, P22b, P23b,  
P24c

【星間現象】

Q08b, Q09b, Q10b, Q11b, Q24b, Q25b,  
Q26b, Q27b, Q28b, Q29c, Q30c, Q31c

【銀河】

R04b, R05b, R06b, R07b, R08b, R09b,  
R10b, R11b, R24b, R25b, R26b, R27b,  
R28b, R29b, R30c, R31c, R32c, R33c,  
R34c

【活動銀河核】

S12b, S13b, S14b, S15b, S16b, S17b,  
S18c, S19c, S20c

【銀河団】

T10b, T11b, T12b, T13b, T14b, T15c,  
T16c, T17c

【宇宙論】

U09b, U10c, U11c, U12c, U13c, U14c

【地上観測機器】

V10b, V11b, V12b, V13b, V19b, V20b,  
V27b, V28b, V29b, V30b, V31b, V32b,  
V33b, V34b, V35b, V36b, V37b, V38b,  
V39b, V40c, V41c, V42c, V43c, V44c,  
V45c, V46c

【飛翔体観測機器】

W12b, W13b, W14b, W15b, W16b, W17b,  
W18b, W19b, W20b, W21b, W22b, W23b,  
W24b, W25b, W26b, W27b, W28b, W29b,  
W30b, W31b, W35b, W36b, W37b, W38b,  
W39b, W40b, W41c

【情報処理】

X06b, X07b, X08c, X09c

【天文教育・その他】

Y04b, Y05b, Y06b, Y07c